授業科目名・形態	地域・在宅看護概論　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	石川セツ子	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	N6-1001npmht				

【授業の主題】

人々の暮らしの多様化に伴い、健康課題も多様化・複雑化し、療養の場も病院のみならず施設や自宅へと拡大した。地域・在宅看護は、療養者を含めた地域で暮らす人々を対象と捉え、他職種と連携してQOLの実現を視野にいれ療養者と家族への看護の概要について理解する。生活圏を基盤とした、健康で安全・安心な地域づくりを目指した地域包括ケアシステムの基本と根拠について習得し、多職種連携とケアマネジメントを理解する。

【到達目標】

1） 地域で生活する人々（療養者、障害児・者等）とその家族と暮らしをみる視点を養う。
2） 個人・家族を対象とし、健康や暮らしを支えるため、生活の基盤である「地域」を理解する。
3） 地域アセスメントの必要性とその方法について理解できる。
4） 地域包括ケアシステムの概要と看護職の役割を説明できる。
5） ケアマネジメントの定義・概念と看護職が担う必要性を理解できる。

【授業計画・内容】

第1回　地域と生活と健康（石川）
① 地域と生活と健康　②地域包括ケアシステムと共生社会　③地域アセスメント

第2回　地域看護（石川）
① 地域看護と在宅看護　②地域・在宅看護の背景　③地域看護の実践

第3回　在宅看護（Ⅰ）（石川）
① 在宅看護の基盤　②地域療養を支える在宅看護の役割・機能　③地域・在宅看護における倫理

第4回　在宅看護（Ⅱ）（石川）
地域包括ケアシステムにおける多職種・多職種連携
① 医療機関との連携　②医療施設や介護施設との連携　③保健・医療・福祉関連機関との連携
④様々な人・機関との連携と地域の目⑤生活の場に応じた看護とサービス提供機関⑥地域包括支援センター

第5回　地域・在宅看護の対象者（石川）
① 地域・在宅看護の対象　②在宅看護の対象者とサービス提供者側の条件
③在宅療養の場における家族のとらえ方④在宅療養者の家族への看護（家族アセスメント、レスパイトケア）

第6回　事例から学ぶ　①地域の多職種が連携して行う自宅退院への支援
②療養者と家族全体を対象とした介入と調整

第7回　在宅療養を支える訪問看護
① 訪問看護の特徴（制度と現状）②在宅ケアを支える訪問看護ステーション（開設基準、従事者、対象者サービス内容、利用料等）

第8回　在宅看護におけるケースマネジメント／ケアマネジメント（石川）
① 看護が担うケースマネジメント／ケアマネジメント　②介護保険制度におけるケアマネジメント（事例）

【授業実施方法】

① 講義　②事例から学ぶ在宅看護演習（グループワーク・意見交換・発表等）③リアクションペーパー

【事前・事後学習】

講義内容に関する事前学習を毎回2時間以上行うこと。講義内容を踏まえ、復習を毎回2時間以上行うこと。

【主な関連する科目】: 地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

2026年度版　地域・在宅看護論①②「地域療養を支えるケア」「地域療養を支える技術」
編者：臺　有桂　石田千絵　山下留理子　　発行所：メディカ出版

【参考文献】: 令和7年度版訪問看護業務の手引き等、その他必要に応じ授業で紹介する。

【成績評価方法】

1）筆記試験（70%）2）課題レポート・演習への取り組み等（30%）

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

在宅看護の実践体験を授業に取り入れ、事例紹介や関連する情報提供により、学生自ら考え意見を表出できる授業内容にする。

【学生へのメッセージ】

生活の基盤である「地域」を理解するため、生活者の視点で地域の実情や社会資源等について、様々な手段で情報収集し、関連する社会情勢については新聞、マスコミ等に関心をもちましょう。

また、テキストでは動画（スマートホンやタブレットで読み取る）を紹介してますので、事前学習として予習やイメージしておくと理解が深まります。